

三重建協会報

建設みえ

No.317

令和7年9月15日発行
(奇数月発行)



も く じ

● 第43回三重県建築賞表彰式を開催	2
● 第43回三重県建築賞受賞作品	4
● 入選作品一覧	6
● 労働安全を中心とした研修会を実施	7
● 2級建設業経理士受験対策講習会を開催	8
● 高校生対象 4級建設業経理事務士 特別研修を開催	9
● おしらせ①	10
● おしらせ②	12
● 会員の異動	13
● 協会日誌	13

2025. SEP.

9

発行所/一般社団法人三重県建設業協会
〒514-0003 津市桜橋二丁目177の2

TEL. 059-224-4116

発行人/稗田寿次郎・編集人/坂三雅人
編集協力/榊建通新聞社

第43回 三重県建築賞受賞者表彰式

主催 一般社団法人 三重県建設業協会

第43回 三重県建築賞 表彰式を開催

(令和7年8月21日)

知事賞 (一般部門) Kitto terrace 亀山

知事賞 (住宅部門) 射和の家

濱口賞 (一般部門) 玉城町田丸駅交流施設

田村賞 (一般部門) 三十三銀行尾鷲支店・海山支店

会長賞 (一般部門) 三重県立特別支援学校寄宿舎

会長賞 (一般部門) 令和4・5年度 志摩幼保園高台移転

一般社団法人三重県建設業協会が主催する第43回三重県建築賞の受賞作品が決まり、8月21日、津市の「三重県総合文化センター内 フレンテみえ 多目的ホール」にて表彰式が行われ、知事賞、濱口賞、田村賞及び協会会長賞など入賞6作品、入選6作品に表彰状の授与が行われました。

今回、第43回目を迎えた三重県建築賞は昭和51年、会員企業が施工した優秀な建築作品を表彰することで、建築業者の育成と技術力の向上を図ることを目的に当協会が創設し、素晴らしい建物を建築した設計者、施工者、建築主を表彰しております。

表彰式にあたり竹上会長は、「三重県建築賞への応募作品には、地域社会において重要な文化性を持つもの、地域の象徴としての要

素を持つものなど、さまざまなものがありますが、近年は象徴的な傾向が特に顕著となってきました。

なかでも社会に評価される優れた建築物をつくり出すにはデザイン面ばかりではなく、公共性、快適性、安全性、耐久性、施工性が重要な評価のポイントになると考えられます。それを実現するには、我々建築業界の持つ施工技術が重要な要素であることは言うまでもありません。

皆様方におかれましては、これからも建築物の創造を通じて郷土の発展と町おこしに参画され、また、良質な住宅環境の形成に貢献されますことをご祈念申し上げますと共に、今後一層のご尽力を賜り、建築業界が健全に発展していくことを祈念する次第です。」と挨拶されました。

次に、審査総評では三重大学工学部教授の富岡義人審査委員長が総評を担当され、入賞6作品それぞれの特色や取り組みの素晴らしさを解説しました。その後の表彰式では、来賓の三重県県土整備部の上村 告理事長と竹上会長が栄誉をたたえる言葉とともに、入賞・入選作品の受賞者に表彰状と記念品を手渡しました。



第43回三重県建築賞

三重県知事賞 一般部門

Kitto terrace 亀山

亀山駅は古くからの交通の要衝だ。関西本線から紀勢本線が分岐し、リニア新幹線もここを通る予定になっている。亀山市は河岸段丘の地形で、旧東海道沿いの市街地は高台に、駅は崖下の川沿いにおいて隔絶している。これをどう接続するのか。これが都市計画上の根本課題であり続けている。

この建物は、その新たな解決策である。駅前にあった個別のビル群をひとつの大きな街区に整理・統合し、集合住宅・商業施設といった民間用途と、公立図書館を複合させた。

「マイカー交通からの脱却、公共交通の復権」は、持続可能なコンパクトシティを実現する上で重要な課題だ。亀山市の場合、市街地との間を結ぶ乗合バスの利用拡大が、その焦点のひとつとなる。人々が有意義な時間を自由に過ごすことのできる公共図書館を、亀山駅の真正面に置くことで、乗り換えを単なる待ち時間と無駄にせず、それに知的な意義を与え、さらに、ここに集合住宅の定住人口を加え、商業施設を補って経済効果を図っていくというのだ。この建物の狙いは、駅前地区の範囲を超えた、全市的な視野に基づいている。

建物は、公共図書館を利用している市民の様子が駅前から直接眺められるような構成になっている。逆に利用者からは、駅前のバス発着の様子が見てとれる。建物は緩やかな階段で貫かれ、大人の資料検索、子供の読書体験、高校生の学習といった、ターゲットに合わせたインテリア・デザインが積み重なる。これを軒の連なった水平基調の外観にまとめた。

公共図書館は、ヨーロッパを中心として、刷新の動きが著しいビルディングタイプである。自発的・能動的学習の場にふさわしい建築空間が、現在の世界的な目標になっているのだ。この水平の帯が、今後続いていくはずの近隣の建物に受け継がれ、駅前広場を輪のように取り囲んだとき、この最初の建物の真価は誰の目にも明らかとなるはずである。

三重県知事賞 住宅部門

射和の家

若い建築家夫婦が双子の姉妹と住む、仕事場（設計事務所）を兼ねた自邸である。

川沿いの町並みに建つ勾配45度妻入りの兩下げ屋根。両側面の軒先はごく低く抑えられ、覆いとしての囲みの感覚が強調されている。真正面には入口はなく、「外土間」と名付けられた庭側の軒下をたどって、建物の中ほどの「内土間」へと導かれる。「二つ屋根の下」という言葉がこれを、まさにそんたてずまいである。

この内土間が非常によい。ここが玄関であり、仕事場であり、応接間であり、おそらく友人や依頼主を招いての会食の場となる。ここの床は周辺の床から椅子の高さほど下がっているから、お客はごく自然に周りに座ってテーブルを取り囲むはずだ。中でも隣和室は特等席で、土間ととも大きくずんで全幅が庭へと開放できる。夏は川面の涼しい風が竹林を通して流れ込み、冬は薪ストーブの火がともって温まる。

断面詳細を見ると、その基礎の上に50ミリ厚のスタイロフォームを敷き、ペタにもう一層コンクリートのスラブが打たれ、これが内土間の床になっている。これが蓄熱に有効なのだ。薪ストーブからの強い輻射熱がこの床を温め、床暖房のような効果を生むのである。この建物の温熱環境の快適さ、上方におおきな吹き抜けがあっても、下方の過ごしやすいさが犠牲にならない秘訣は、この断面設計にあるはずだ。

屋根は、棟持柱に支えられた棟梁に架かる集成材の登り梁に、24ミリ厚の構造用合板を打ちつけた、剛性の高い外殻構造になっている。内土間の上にはトップライトがとられ、昼間の照明はこれで家中十分明るさになる。伝統的な街並みに合う謙虚な気配の屋根、近隣への圧迫感を最小にしたスーブル感、明確で単純な構造体の構成。余分な仕上材、その下地となる二次部材を徹底的に排除した簡素な心地よさ。どれもとっても、設計者の判断の明快さと技量の冴えが光る、優れた作品である。

濱口賞 一般部門

玉城町田丸駅交流施設

伊勢神宮に向かう参宮線の途中、田丸駅は、まっすぐ伸びる線路に広やかなプラットフォームが寄り添う、「ローカル線の典型」ともいえる風景である。映画のロケに使われて「聖地」として人気が出そうな予感がある。駅は玉城町の中心地にあり、すぐ先に町役場もある。最近まであった旧駅舎は1912年の木造建築で、目に見えるほど傾きながらも何と鉄骨の傾斜で支えられて、110年もの間大切に使われてきた。2021年からは無人駅になり、耐震診断で危険と判定され、2023年ついに解体された。

玉城町はその喪失を心底悲しんだ。旧駅舎の土地をJRから借り上げ、みずから駅舎を再建しようと思った。単に再建するだけでなく、観光案内を行う町の玄関口として、町民の交流施設として、無人駅をふたたび有人化したのだ。木造瓦葺き平屋建て、朱色に塗られた柱、レンガの腰壁などは、旧駅舎の素材感そのままである。駅名標、木製引き戸などは、保存してあった部材をそのまま使った。鉄道の運行を決して邪魔することのないよう、設計も工事計画も、JRと合意した厳密なルールに則って行われた。

この作品は、三重県内に多数散在する無人駅の「公共施設化」に向けた、今後のプロトタイプとなるものだ。「交通複合施設」は、何も都会だけの専売特許ではないのだ。田舎の無人駅こそ新たなアイデアの母体になるかもしれない。もし駅に保育園を併設したら、若い通勤客が鉄道に帰属するのではないかな？ もし駅が診療所と複合すれば、老人は自分の足で診療にやってくるのではないかな？ もし駅に塾があれば、車で送迎する親の時間とエネルギーが削減できるのではないかな？ こうして利用客が増えれば廃線の危機も遠のくのではないかな？ そもそも駅とは鉄道の付属物ではなく、地域の一部だったのではないかな？

建築主・設計者・施工者の高い技量と共同によって切り拓かれたこの貴重な可能性が、鉄路に沿って広がっていくことを希う。

田村賞 一般部門

三十三銀行尾鷲支店・海山支店

複数の支店を統合し、機能強化と施設更新を図ろうとする方針にもとづいて設計・建設された銀行建築である。尾鷲市は漁港から駅までゆるい勾配が続く地形だが、海岸から300mほど入ったこの敷地でも、まだ地表面は海拔3.5m。海拔11mの津波予測には全然届かない。地域経済をになう銀行の支店として、どのような防衛策をとっておくべきか……

建物は南側3階建ての棟と北側の片流れ屋根の平屋棟のふたつの層からなっている。3階建てには営業室・会議室・金庫といった銀行の本体機能が積み重ねられ、平屋側には客だまりのロビーだけがある。北に向かつて低くなる立体構成は、隣地の住人に日照を与える大変思いやりのある判断である。3階建の屋上は海拔15m。金庫室の水密扉を閉じたあと、最後に支店長がここに登ってくることになるらしい。この区分は施工面でも役立った。工事用ヤードが平屋側に確保でき、3階建の鉄骨工事を一気に進められたのである。

ふつう銀行支店の客だまりロビーは街路に面するように配置するものだが、この建物では奥行き方向に貫く「通り土間」の構成になっている。手前は大きな入口ポーチになり、ATMコーナーを経て、奥の光庭まで伸びていく。

この空間を輪郭付けるのが、尾鷲ヒノキの天井である。床や腰壁でなく、天井をデザインするにしようというアイデアは、意表を突く優れた着眼点だと思う。雨がかわからず、直射日光もあつたず、手も靴も触れることのない天井は、実は天然の素材感がもっとも安定し持続できる部位なのだ。斜めの天井は、外部ポーチの軒裏から始まり、ロビー内部までそのまま続いて、利用者の空間全体を覆う。ディテールは上品にデザインされ、スリットからダウンライトの光が注ぐ。実に精度よく施工され、天井の連続性と一体性が視覚的に印象付けられる。

設計方針の明確さ、その判断のシャープさに、施工の精確さがともなって完成された、端正な作品である。

会長賞 一般部門

三重県立特別支援学校寄宿舎

津市にある城山特別支援学校の正面には、県立盲・聾学校があらたに建設されることになっている。県立学校も統合・効率化を伴いながら施設の抜本的更新を図る動きが進んでいるのだ。この寄宿舎は盲・聾学校に通う、県内遠隔地出身の児童・生徒が集い、生活する「大きな家」である。

建物平面は、盲学校の子供たちを1階に、聾学校の子供たちを2階に配分し、中央ホールに左右に男女を区分して寄宿室を並べる。単純かつ明確な機能配分をとる。それぞれの先端には非常口・階段があって、避難の安全性はこの上ない。

だから、玄関と階段がある中央ホールは、明確にこの建物の中心点である。ハンディのある子供たちに、建物の原点であるこの場所を、十分感じられるように設計しなければならない――視覚不自由の子に対しては、音や響きを通じて。聴覚不自由の子に対しては、素材の切り替わりや空間のしつらえの変化を通じて。そして両方が不自由な子には、触覚の変化や香りの違いを通じて。自分の現在位置を識ることは、人間の自律的行動を支える根幹なのだから。

この中央ホールに架かるのが、木造の相持ち架構（レシポカル架構）の構造体である。短い木材を互いに欠き込んで矩形に組み合わせ、これを単位として連続させていくことによって、長いスパンを架け渡すことのできる構造形式である。この架構が、音の響きに場所特有の深みを生み出し、場所特有の光のきらめきを演出し、場所特有の樹の香りを醸し出す。こうしてすべての人間に建物の中心点を明確に知覚させる。

もちろんこれは、人々の相互協力の表象（シンボル）でもある――ひとりひとり、どんな人も自分の能力に限界づけられている。だが、皆がその能力を相互に差し出し、それらを組み合わせれば、その社会は、個人個人の限界を超えていく――建築には、こういう根源的意味を表象するはたらきがある。

会長賞 一般部門

令和4・5年度志摩幼稚園高台移転

津波浸水区域にあった旧園舎の機能を、高台に移転するプロジェクトである。敷地はかつて小学校のあった場所、旧体育館を緊急時の避難所として保存した上で、残りの敷地に新たな幼稚園舎を建築した。

自動車による送迎がほとんどとなるため、敷地を斜めに2分し、道路側を送迎用の駐車場に、反対側を園庭に割り当て、その間に分け入るよう、へ字形に屈曲した平家の校舎が計画された。2つの外部空間を結ぶ中央部に貫通するように入口ホールと職員室を設け、両ウイングに保育室が連なっていく。機能的で簡潔な構成である。

園舎は、校庭側に下る片流れ屋根が連続するシンプルな外観で、もっとも園庭前に幅広の廊下、次いで保育室、奥にトイレなどのユーティリティが控える。保育室の天井が高くなったところにはハイサイドライトを設けて暗がりを消し、自然光で照らされる明るい空間を実現している。このような「レイヤード・プラン」（層状の平面構成）は、明確な構造計画と間仕切壁の移動可能性の担保、空間の高さを利用した自然採光、ユーティリティの地下を貫通する地下ピット空間など、将来の改修や更新に備えた、持続可能性を作品もたらしている。

この建物には、さらに防災拠点としての機能が埋め込まれている。既存旧体育館と接する遊戯室は相互に補完的な避難所となることが想定されて備蓄倉庫が付属し、さらに隣接する調理室には炊き出しの役目が与えられている。太陽光発電の設備や、正面の広い駐車場、室内での自然光の活用も、災害時に役立つはずの工夫である。

単純な外形だけに、ディテールは簡潔な幾何学的明確さを目指して設計された。屋根は一枚の板に見えるほど平滑に仕上げられているが、これには注意深い施工上の工夫が込められている。

災害に対する慎重な備えを背景に持ちながら、自然の明るさに満ちた、単純かつ爽快なデザインが際立った作品である。

第43回 三重県建

知事賞〔一般部門〕

Kitto terrace亀山



Kitto terrace 亀山 全景



Kitto terrace 亀山 3階 開架書架エリア

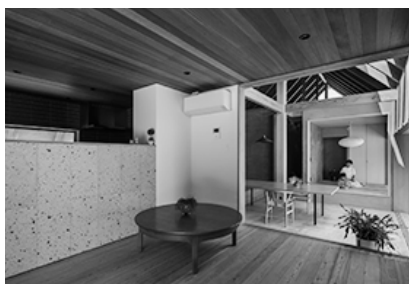
- 亀山支部
- ・建築主
亀山駅周辺2ブロック地区市街地再開発組合・亀山市・㈱マリモ
- ・設計者
㈱東畑建築事務所
名古屋オフィス（愛知県）
- ・施工者
鴻池・堀田特定建設工事共同企業体

知事賞〔住宅部門〕

射和の家



射和の家 外観



射和の家 内観

- 会員外
- ・建築主
原田 知幸
原田 由理香
- ・設計者
原田建築設計舎（松阪市）
- ・施工者
原田建築設計舎

濱口賞〔一般部門〕

玉城町田丸駅交流施設



玉城町田丸駅交流施設（南面）



玉城町田丸駅交流施設（北面2）

- 伊勢支部
- ・建築主
玉城町
- ・設計者
㈱山本設計（伊勢市）
- ・施工者
吉田産業㈱

建築受賞作品

田村賞〔一般部門〕

三十三銀行尾鷲支店・海山支店

● 松阪支部

- ・建築主
㈱三十三銀行
- ・設計者
㈱伊藤建築設計事務所（愛知県）
- ・施工者
㈱北村組



三十三銀行 1階ロビー



三十三銀行 外観北西面

会長賞〔一般部門〕

三重県立特別支援学校 寄宿舎

● 津支部

- ・建築主
三重県
- ・設計者
㈱浦野設計（愛知県）
- ・施工者
日本土建・東海土建
特定建設工事共同企業体



三重県立特別支援学校寄宿舎 外観



三重県立特別支援学校寄宿舎

令和4・5年度 志摩幼保園 高台移転

● 志摩支部

- ・建築主
志摩市
- ・設計者
㈱青島設計（愛知県）
- ・施工者
㈱山下組



第43回三重県建築賞審査結果一覧表 (受賞者)

一般部門

支部名	作 品 名	施 工 者	設 計 者	建 築 主
-----	-------	-------	-------	-------

入 賞 5 点

(知事賞 1 点)

亀 山	Kitto terrace亀山	鴻池・堀田特定建設工事 共同企業体	㈱東畑建築事務所 名古屋オフィス (愛知県)	亀山駅周辺2ブロック地区 市街地再開発組合 亀山市・㈱マリモ
-----	-----------------	----------------------	---------------------------	--------------------------------------

(濱口賞 1 点)

伊 勢	玉城町田丸駅交流施設	吉田産業㈱	㈱山本設計 (伊勢市)	玉城町
-----	------------	-------	-------------	-----

(田村賞 1 点)

松 阪	三十三銀行尾鷲支店・海山支店	㈱北村組	㈱伊藤建築設計事務所 (愛知県)	㈱三十三銀行
-----	----------------	------	---------------------	--------

(会長賞 2 点)

津	三重県立特別支援学校 寄宿舎	日本土建・東海土建 特定建設工事共同企業体	㈱浦野設計 (愛知県)	三重県
志 摩	令和4・5年度 志摩幼保園 高台移転	㈱山下組	㈱青島設計 (愛知県)	志摩市

入 選 5 点

津	東紀州こどもの園	日本土建・榎本 特定建設工事共同企業体	㈱アスカ総合設計 (松阪市)	社会福祉法人 聖マッテヤ会
伊 勢	二見浦小学校・二見中学校	堀崎・吉川・宮本特定建設工事共同企業体 伊藤・富士特定建設工事共同企業体	東畑・和田特定設計業務共 同企業体 (愛知県)	伊勢市
伊 勢	みえ森林・林業アカデミー棟	㈱山口工務店	㈱南勢建築設計 (伊勢市)	三重県
伊 勢	伊勢美し国醸造所	なかむら建設㈱	タカセモトヒデ建築設計/ TDW*ROOT (伊勢市・大阪府)	㈱プリス・ダイニング
伊 賀	いなこ保育園	上野ハウス㈱	㈱服部建築事務所 (大阪府)	社会福祉法人 伊賀市社会事業協会

住宅部門

支部名	作 品 名	施 工 者	設 計 者	建 築 主
-----	-------	-------	-------	-------

入 賞 1 点

(知事賞 1 点)

会員外	射和の家	原田建築設計舎	原田建築設計舎 (松阪市)	原田 知幸 原田 由理香
-----	------	---------	---------------	-----------------

入 選 1 点

伊 勢	南伊勢の家	㈱富士建設	DROPS建築設計事務所 (松阪市)	㈱ララコレクション
-----	-------	-------	-----------------------	-----------

労働安全を中心とした研修会を実施



一般社団法人三重県建設業協会では一般社団法人全国建設業協会・公益財団法人建設業福祉共済団との共催による、「労働安全を中心とした研修会」を8月29日に開催しました。

この研修会は、一般社団法人三重県建設業協会の会員企業の現場等で実際に労働安全対策に携わっている方・その他関係者を対象に開催し、39名の方が受講されました。

なお、この研修会は全国土木施工管理技士会連合会が実施している継続学習制度(CPDS)の学習プログラムに登録されており、受講者に7ユニットが付与されました。

講師は佐藤労働安全コンサルタント事務所所長の佐藤恭二氏を招き、「安全衛生確保のために(無事故・無災害を目指して)」、「施工・品質確保のために」、「リスクアセスメントと作業手順書の作成」について講義が行われ、その後、グループに分かれて演習が行われました。

一般社団法人三重県建設業協会では会員企業の技術者の能力の向上に役立つ研修会を今後も開催してまいりますのでご理解いただくと共にご参加ください。

労働安全を中心とした研修会 カリキュラム

1. 安全衛生確保のために
(無事故・無災害を目指して)
 - 1) 建設業における労働災害の現状
 - 2) 墜落・転落災害の防止
 - 3) 統括管理に求められるもの
 - 4) 送検事例
 - 5) 高年齢者の安全衛生確保
 - 6) 安全管理の基本と事例紹介
 - 7) メンタルヘルス対策及びレジリエンス
 - 8) 酸欠等の見えない危険
 - 9) 熱中症にかかる労働安全衛生規則の改正
2. 施工・品質確保のために
 - 1) 建設業に求められる体制と資格について
 - 2) 建設キャリアアップシステム
 - 3) 建設業における時間外労働規制について
3. リスクアセスメントと作業手順書
 - 1) リスクアセスメントの必要性
 - 2) リスクアセスメントを用いた作業手順書の作成演習
 - 3) 化学物質のリスクアセスメント



2級建設業経理士受験対策講習会を開催



建設業経理士は、建設業独自の会計ルールを理解し、帳簿作成や決算処理といった専門的な業務を行う、建設業の経理のプロフェッショナルです。この資格は、公共工事の入札に必要な経営事項審査で評価されるため、多くの建設関連企業で取得が推奨されています。しかし、建設業経理士に求められる知識は非常に高度で広範囲にわたります。登竜門とされる2級でも合格率は40%を下回っており、独学での合格は簡単ではありません。

そこで、三重県建設業協会は、合格を目指して日々奮闘している方々を支援するため、

夏と冬の年2回、2級建設業経理士試験対策講習会を開催しています。

今回は、9月7日に実施された第37回検定試験を受験予定の13名を対象に、7月22日から24日までの3日間、三重県建設産業会館で講習会を実施しました。講師には、南武博会計事務所所長の南武博氏をお招きし、過去問題を徹底的に分析した実践的なカリキュラムで、効率的に学べるようご講義いただきました。

参加者からは、好評を得て、盛況のうちに講習会を終えることができました。



高校生対象 4級建設業経理事務士特別研修を開催



一般財団法人建設業振興基金は、一般社団法人三重県建設業協会と連携し、高校生を対象とした「4級建設業経理事務士」特別研修を三重県内で開催しました。

建設業界では、品質の高い建物を造るだけでなく、各工事の経費を適切に管理し、利益を確保することが会社の存続に不可欠です。また、受注後に製造する建設業の経理は、一般的な製造業とは異なり、建設業特有の会計処理や知識が求められます。

この研修は、経理の知識がない高校生でも、経理の基礎から学べるよう構成されています。仕訳など、経理事務の基本を習得することで、研修後の試験に合格すれば「4級建設業経理事務士」の資格を取得できます。

高校生のうちにこの資格を取得することで、

建設業界への理解を深め、将来の入職につなげるとともに、コスト管理能力を身につけることが期待されます。

慣れない学習に苦労しながらも、生徒たちは熱心に勉強に取り組み、研修終了後に行われた検定試験に挑戦しました。

○4級建設業経理事務士 特別研修

①開催日時：7月28日（月）～29日（火）

開催場所：伊勢工業高校

参加者：伊勢工業高校建築科の生徒
27名

②開催日時：8月26日（火）～27日（木）

開催場所：三重県建設産業会館

参加者：四日市工業高校建築科の生徒
22名



事業者の皆さまへ

第76回 全国労働衛生週間

2025（令和7）年10月1日～7日【準備期間：9月1日～30日】

全国労働衛生週間スローガン

ワーク・ライフ・バランスに意識を向けて
ストレスチェックで健康職場

誰もが安心して健康に働ける職場づくりへのご協力をお願いします！

「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年実施しています。

準備期間（9月1日～30日）に実施する事項

重点事項をはじめとして、日常の労働衛生活動の総点検を行いましょう

- 過重労働による健康障害防止対策
- 職場におけるメンタルヘルス対策
- 職場における転倒・腰痛災害の予防対策
- 化学物質による健康障害防止対策
- 石綿による健康障害防止対策
- 職場の受動喫煙防止対策
- 治療と仕事の両立支援対策
- 職場の熱中症予防対策の推進
- テレワークでの労働者の作業環境、健康確保
- 小規模事業場における産業保健活動の充実
- 女性の健康課題への取組
- 東日本大震災等に関連する労働衛生対策の推進

全国労働衛生週間（10月1日～7日）に実施する事項

- 事業者または総括安全衛生管理者による職場巡視
- 労働衛生旗の掲揚およびスローガンなどの掲示
- 労働衛生に関する優良職場、功績者などの表彰
- 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症などによる事故など緊急時の災害を想定した実地訓練などの実施
- 労働衛生に関する講習会・見学会などの開催、作文・写真・標語などの掲示
- その他労働衛生の意識高揚のための行事などの実施

主 唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協 賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

都道府県労働局・労働基準監督署

取り組みには、以下の情報や支援をご活用ください。

産業保健活動総合支援

産業保健総合支援センターは、産業保健活動を支援するため、企業への訪問指導や相談対応、研修などを実施しています。

地域産業保健センター（地産保）では、小規模事業場を対象に、医師による健康相談などを実施しています。

また、事業主団体等を通じて、中小企業等の産業保健活動の支援を行う「団体経由産業保健活動推進助成金」による支援も実施しています。

■産業保健総合支援センター（さんぽセンター）
<https://www.ishas.go.jp/shisetsu/tabid/578/Default.aspx>



メンタルヘルス対策

職場でのメンタルヘルス対策に関する法令・通達・マニュアル、「ストレスチェック実施プログラム（無料）」を掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/>



メール・電話・SNS相談窓口を設置し、メンタルヘルス対策の取組事例などを紹介しています。

■働く人のメンタルヘルスポータルサイト「こころの耳」
<https://kokoro.mhlw.go.jp/>



治療と仕事の両立支援

治療と仕事の両立支援のガイドラインや企業の取組事例、シンポジウムなどの総合的な情報を紹介しています。

■治療と仕事の両立支援ナビ
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp>



化学物質管理

職場の化学物質管理の総合サイト「ケミサポ」や化学物質管理に関する無料相談窓口のご案内などを掲載しています。

■職場の化学物質管理の道しるべ「ケミガイド」
<https://chemiguide.mhlw.go.jp/>



転倒・腰痛予防対策

転倒・腰痛予防対策の参考資料を紹介しています。

■「いさいき健康体操」（監修：松平浩）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000895038.mp4>



■腰痛を防ぐ職場の好事例集

<https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/Q01465336.pdf>



SAFEコンソーシアム

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」※に加盟し安全衛生の取り組みを社内外にPRしましょう！



※増加傾向にある転倒・腰痛などの労働災害について、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図る活動体です。趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し、労働災害問題の協議や、加盟者間の取り組みの共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートします。

■SAFEコンソーシアムポータルサイトはこちら
（サイト内から加盟申請もできます）
<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



高齢労働者の健康づくり

高齢者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けた取り組みを進めましょう。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/newpage_00007.html



働き方改革

時間外労働の削減や年次有給休暇取得促進など働き方改革の推進に役立つ情報を紹介しています。

■働き方の現状が把握できる「自己診断」等
（働き方・休み方改善ポータルサイト）
<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>



■各種助成金や無料相談窓口の紹介等
（働き方改革特設サイト）
<https://hatarakikataikaku.mhlw.go.jp/top>



労働安全衛生調査

事業所が行っている安全衛生管理や、そこで働く労働者の不安やストレスなど心身の健康状態についての調査結果を公表しています。安全衛生管理の参考資料として活用するとともに、調査対象となった際のご協力をお願いします。

https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list46-50_an-ji.html



その他

■職場における熱中症予防情報
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



■職場における受動喫煙防止対策
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/kitsuen/index.html



■労働基準監督署等への届出は電子申請が便利です！
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/denshishinsei.html



KKS 株式会社 建設経営サービス

建設企業のキャッシュフローの改善を支援します

KKS金融サービスのご案内**KKS出来高融資**

「KKS出来高融資」は、国土交通省が創設した『地域建設業経営強化融資制度』に基づき、工事の出来高に応じて融資を受けることができるサービスです。工事の出来高に応じて資金を回収できるため、キャッシュフロー改善の一環として、是非ご利用をお勧めいたします。

担保は不要

工事請負代金債権を担保とするので、保証人や、不動産等の担保は不要です

新たな資金調達手段を確保

金融機関とは別に資金調達が可能になります

キャッシュフローの改善

資金調達日を確定することにより、資金繰り計画を立てやすくなります

経審上も有利

出来高融資での借入金は、経営事項審査の経営状況分析における「負債回転期間」の負債合計から控除されます

まずはお電話ください ☎ **03-3545-8534**

発行人・お問合せ先

東日本建設業保証株式会社グループ

KKS 株式会社 建設経営サービス

貸金業登録番号 関東財務局長(6)第01480号

URL <https://www.kks-21.com>

金融第一部

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12

TEL 03-3545-8523 FAX 03-3545-8530

金融第二部

宮城営業所

愛知営業所

石川営業所

東京都中央区築地5-5-12

宮城県仙台市青葉区支倉町2-48

愛知県名古屋市中区武平町5-1

石川県金沢市弥生2-1-23

TEL 03-3545-8523

TEL 022-262-8622

TEL 052-962-3525

TEL 076-242-1285

● 会員の代表者の変更

令和7年9月12日 理事会

支部	変更事項	変 更 前	変 更 後
松 阪	代 表 者	㈱三栄建設 代表取締役 出 口 正 文	㈱三栄建設 代表取締役 出 口 達 也
伊 勢	代 表 者	㈱森田建設 代表取締役 森 田 富 守	㈱森田建設 代表取締役 森 田 成 靖
志 摩	代 表 者	(有)菅島建設 代表取締役 木 下 利 三	(有)菅島建設 代表取締役 木 下 直 也

● 会員の所在地の変更

支部	変更事項	変 更 前	変 更 後
松 阪	住 所	山二建設㈱ 〒519-2403 多気郡大台町上三瀬863-2	山二建設㈱ 〒515-0019 松阪市中央町384-1

協 会 日 誌

令和7年7月16日～9月15日

主たる会議

◎7月17日 11時00分から

・令和7年7月 正副会長会議

三重県建設産業会館 4階北会議室

事項

- 1、自民党県連および新政みえへの要望について
- 2、女性部会との意見交換について
- 3、令和8年度総会日程について

◎7月17日 13時30分から

・令和7年7月 常任理事会

三重県建設産業会館 2階役員室

理事会承認事項

- 1、代表者等の変更について
- 2、CCUSについて

◎7月29日 13時30分から

・令和7年7月 技術者育成委員会

三重県建設産業会館 4階会議室

議題

- 1、技術者等の定着・育成
 - ・建設企業で働く皆様へのアンケート調査の回答状況（現時点）
- 2、若手技術者の育成について
- 3、現場見学会
 - ・学校別開催日
 - ・支部毎の見学先候補数
 - ・今後のスケジュール
 - ・CPDS申請（昨年度の実績）
- 4、建設業就職内定者研修会・新入社員研修会の実施状況の報告

5、資格取得支援研修会の実施状況

6、令和7年度の三重県におけるCCUSの取り組み

7、令和7年度入札方法の改正

◎7月31日 16時00分から

・令和7年7月 事務長会議

三重県建設産業会館 2階役員室

議題

- 1、6月4日総会および表彰式の受付の改善点について
- 2、令和7年度 建設企業で働く皆様へのアンケート調査について
- 3、支部事務局への助成金の前倒し交付について
- 4、今後の事務長会議について
- 5、お盆休み中の事務局の連絡体制について

◎8月4日 15時30分から

・令和7年度 中部地方整備局と三重県建設業協会との意見交換会

三重県建設産業会館 4階中小会議室

- 1、開会
- 2、あいさつ
 - 三重県建設業協会会長 竹上 亀代司
 - 中部地方整備局長 森本 輝
- 3、中部地方整備局からの情報提供
- 4、意見交換
 - ・意見交換
 - ・フリーディスカッション
 - ・まとめ
 - 三重県建設業協会会長 竹上 亀代司
 - 中部地方整備局企画部長 濱田 禎
- 5、閉会

◎8月7日 13時30分から

- ・令和7年8月 総務委員会
三重県建設産業会館 4階会議室

1、あいさつ

井本委員長

2、議題

- 1、雇用改善推進大会
- 2、私たちの主張作文コンクールの選考
- 3、三重短期大学学内企業説明会
- 4、懇親会ゴルフ大会
- 5、7年度の女性部会の行事
- 6、CCUS

◎8月19日 15時00分から

- ・第11回災害対応実動訓練会場の下見並びに令和7年8月 土木委員会
松阪浄化センター 2階大会議室

議題

1、第11回災害対応実動訓練について

①前回の決定事項

- ・訓練内容と担当支部

②ICT機器の活用について

③会場レイアウト図の検討について

④訓練当日のスケジュール（案）について

⑤土のうの持ち帰りについて

（→今年度は敷き均しでよいか）

⑥情報共有

- ・来賓出欠状況の報告について

- ・会場設営の委託先について

→三重テレビエンタープライズ(株)

参考：訓練実施までのスケジュール

2、CCUSについて

◎8月21日 10時30分から

- ・建築委員会および県土整備部営繕課との意見交換会
三重県総合文化センター 文化会館棟 大会議室

1、あいさつ

副会長 田村 頼一

委員長 堀田 誠

2、議題

(1) 県土整備部との意見交換会について

①あいさつ

県土整備部次長 吉村 厚哉

②意見交換会事項

(2) 三重県建築賞について

①三重県建築賞審査結果一覧（受賞者）の報告について

②「三重県建築賞」実施要綱（案）の改正について

③「第44回三重県建築賞（令和8年度）」募集要領（案）の改正について

④三重県建築賞の審査方法等について（覚書）（案）の改正について

⑤三重県建築賞表彰割当数について（案）の改正について

(3) その他

◎8月22日 11時00分から

- ・令和7年8月 正副会長会議
三重県建設産業会館 4階北会議室

事項

1、東海四県ブロック会議 提案議題について

◎8月22日 13時30分から

- ・令和7年8月 常任理事会
三重県建設産業会館 2階役員室

理事会承認事項

1、代表者等の変更について

代表者の変更

実質的経営権を有する者の変更

2、令和8年度総会日程について

理事会報告事項

3、所在地の変更について

その他事項

4、10月1日開催の常任理事会等について

5、CCUSについて

◎8月25日 13時30分から

- ・令和7年8月 事務担当者会議
三重県建設産業会館 2階役員室

議題

1、特定技能外国人の受入れ希望の企業に対する対応について（再確認）

- ・会員である証明書の発行

- ・受入負担金の納付書類の交付

2、窓口販売用紙について

3、会計ソフトの運用について

4、その他

◎8月28日 13時30分から

- ・三重県建設業協会建設DX専門委員会と三重県県土整備部との意見交換会
三重県建設産業会館 4階会議室

1、議題

1. 三重県における電子契約の導入について

2. 三重県における建設DX取組についての意見交換

- ・現場におけるインターネット環境の整備

- ・ASPの活用

- ・遠隔臨場の導入促進

- ・バックオフィスの導入

- ・ICT土工について

- ・建設DX促進支援

2、その他

◎9月3日 決議

- ・総務委員会 書面審議

1. 三重県建設業協会 亀山支部規約改定にかかる書面審議

◎9月12日 11時00分から

- ・令和7年9月 正副会長会議

三重県建設産業会館 4階北会議室

事項

- 1、10月23日東海四県ブロック会議について
- 2、学校法人電波学園 東海工業専門学校金山校との連携協力について
- 3、けんざか茂範議員の来協

◎9月12日 12時30分から

・令和7年9月 常任理事会

三重県建設産業会館 2階役員室
理事会承認事項

- 1、支部規約の改正について
- 2、代表者等の変更について

理事会報告事項

- 3、令和7年度 女性セミナーの開催について（女性部会関連）
- 4、令和7年度災害対応訓練の検討状況について（土木委員会関連）

その他事項

- 5、若手技術者の育成について（技術者育成委員会関連）
- 6、その他理事会での説明事項

◎9月12日 14時40分から

・令和7年9月 理事会

三重県建設産業会館 2階役員室
理事会承認事項

- 1、支部規約の改正について
- 2、代表者等の変更について
・代表者の変更
・実質的経営権を有する者の変更

- 3、令和8年度総会日程について

理事会報告事項

- 4、所在地の変更について
 - 5、令和7年度 女性セミナーの開催について
 - 6、SNS発信にかかる県総合評価方式の対象拡大について
 - 7、令和7年度 建設企業で働く皆様へのアンケート調査の協力のお願い
 - 8、令和7年度災害対応訓練の検討状況について
 - 9、令和7年度三重県建設業協会 今後の事業予定
- その他事項
- 10、CCUSについて

その他の会議・研修等

- 7月14日～16日 令和7年度 建設DX（デジタルトランスフォーメーション）とAI実体験研修（第3回）（21名）〔津市〕
- 7月17日 三重県自衛隊除隊者雇用協議会 定期総会〔津市〕
- 7月17日～18日 4級建設業経理事務士特別研修（一般）（13名）〔津市〕
- 7月19日 第1回津市空き家無料相談会〔津市〕

- 7月22日 関西国際空港全体構想促進協議会 令和7年度総会〔大阪府〕
- 7月22日～24日 令和7年度 2級建設業経理士試験対策講習会（前期）（13名）〔津市〕
- 7月23日 津社会保険委員会総会〔津市〕
- 7月24日 令和7年度 建設業社会貢献活動推進月間中央行事〔東京都〕
- 7月25日 （公財）建設業福祉共済団 令和7年度事業推進戦略会議〔東京都〕
- 7月28日 令和7年度 第1回建設生産システム委員会〔東京都〕
- 7月28日 令和7年度 （一社）三重県社会基盤整備協会 講演会〔津市〕
- 7月28日～29日 4級建設業経理事務士特別研修（伊勢工業高校）（27名）〔伊勢市〕
- 7月31日 中部運輸局三重運輸局 令和7年「海の日」記念式典〔四日市市〕
- 8月1日 三重県建築物震後対策推進協議会 令和7年度総会〔津市〕
- 8月4日 第2回みえの木建築コンクール実行委員会〔津市〕
- 8月8日 テロ対策三重パートナーシップ推進会議合同研修会〔津市〕
- 8月18日 三重県議会新政みえ「団体懇談会」〔津市〕
- 8月18日 （一社）中部地質調査業協会 女性活躍推進ワーキンググループ主催 夏のリコチャレ2025の視察〔名古屋市〕
- 8月21日 第43回三重県建築賞表彰式〔津市〕
- 8月26日 中部道路啓開計画協議会〔Web〕
- 8月26日～27日 4級建設業経理事務士特別研修（四日市工業高校）（22名）〔津市〕
- 8月28日 東海四県建設業協会女性部会等の意見交換会準備会（第2回）〔Web〕
- 8月29日 労働安全を中心とした研修会（39名）〔津市〕
- 9月3日 第24回三重県不正軽油撲滅対策会議〔津市〕
- 9月3日 令和7年度東海四県会長会議〔名古屋市〕
- 9月3日～5日 3級建設業経理事務士特別研修（一般）（12名）〔津市〕
- 9月4日～5日 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 令和7年度役員視察会〔青森県〕
- 9月5日 令和7年度 第2回建設生産システム委員会〔東京都〕
- 9月8日 令和7年度 解体工事に係る連絡調整会議〔津市〕
- 9月8日～9日 令和7年度 1級土木施工管理（2次）検定受験対策研修会（23名）〔津市〕
- 9月9日 令和7年度 第2回経営委員会〔東京都〕
- 9月9日 令和7年度三重県空き家等対策連絡会議（全体会議）〔Web〕

建退共からのお知らせ

建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

国の制度

5つの 特長

1

国の制度なので安全確実かつ簡単

退職金は国で定められた基準により計算して確実に支払われます。手続はさわめて簡単です。

2

退職金は企業間を通算して計算

退職金は、A企業からB企業にかわっても、それぞれの期間が全部通算して計算されます。

3

国が掛金の一部を補助

新たに加した労働者（被共済者）については、国が掛金の一部（初回交付の手帳の50日分）を補助します。

4

掛金は損金扱い

掛金は、税法上全額について、法人では損金、個人企業では必要経費として扱われます。（法人税法施行令第135条第1号、所得税法施行令第64条第2項）

5

経営事項審査で加点

公共工事の入れに参加するための経審において、制度に加入し履行している場合には、加点評価されます。

（注）資本金または出資金が1億円を超える法人の法人事業税には、外形標準課税が適用されますので、ご注意ください。

お問い合わせは

独立行政法人
勤労者退職金共済機構

建退共三重県支部

〒514-0003 津市桜橋2丁目177-2

☎059-253-6505

助け合い、未来を創る。



建設業界による自主的な
共済保険で保険料が安い。

元請・下請問わず
無記名で補償。

元請・下請それぞれの
保険契約者へ重複支払い。

企業の諸費用部分も補償。

事業主（保険契約者）への
速やかな支払い。

経営事項審査において
15点の加点。

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー11階

（取扱機関）（一社）三重県建設業協会 〒514-0003 津市桜橋2-177-2 TEL.059-224-4116 FAX.059-228-6143

詳しい情報、保険料試算など
のお問い合わせは

Tel. 03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学
事業

被災者（死亡および身体障害・傷病3級以上）の子どもに対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。